

## 一人ひとりの力を一つに

～この難局を乗り切るために一体感の醸成や  
一人ひとりの成長につなげる環境構築を目指します～

### 三越伊勢丹ニッコウトラベル支部

## 2022年12月 テーマ別 VOICE 資料

#### <今回の限定メンバーズ VOICE の位置づけ>

今回の VOICE は、労使通年協議の内容である「添乗付加手当の方向性」と「国内出張の日当水準の見直し」、「ステージ B 昇格要件」についての議論の進捗をお伝えし、意見交換を行うことが目的です。

○配布対象者：社員、スペシャリティスタッフ、エルダースタッフ、エルダースペシャリティスタッフ  
※非組合員含む



# 1. 添乗付加手当（報奨金）の方向性について 【報告事項】

## 1) 見直しの考え方

添乗付加手当（報奨金）については、これまでも評価制度のあり方を検討する中で、廃止も含めた方向性の検討をおこなってきました。

添乗付加手当には、評価制度とは別のお客様アンケートによる評価という要素があり、現在、添乗業務については評価制度と併せて二重の評価となっています。

また、その支給対象の判断基準にお客様アンケートを利用しているため、お客様アンケートにおいて、添乗業務の評価のための要素が強まってしまっているとも捉えられます。

これらの課題や現行の運用については、これまでのVOICEの際などにおいても、現状はあるべき姿ではないといった旨のメンバーの声も頂いています。

このため、添乗付加手当は次年度より廃止と議論を進めていますが、原資については、添乗に関する原資の再配分といった位置付けである旨、労使で確認しています。

## 2) 過去の経緯と現状の議論内容について

添乗付加手当については、2019年度の統合時に、海外ツアーの1日当たりの添乗手当6,000円から、4,500円を添乗手当（過去の添乗員ランクB）とし、1,500円を報奨金（添乗付加手当）として整理した経緯があることを確認しています。

また、廃止の際の原資については、下記の計算式から、1,500円の再配分が可能であることも確認しています。原資の再配分としては、海外添乗手当への加算を検討しています。

<報奨金原資の計算について>

報奨金原資の計算	
2019年報奨金総額 ÷ 海外全ツアー日数 = 1,383円（手当の加算は1,500円）	

<改定の内容について>

現行	改定
海外添乗 4,500円 + 添乗付加手当	海外添乗 6,000円

<改定後の添乗手当のイメージ>

ツアー種別		添乗手当（1日当たり）	
海外添乗		6,000円	
国内添乗	宿泊有り	3,000円	
	日帰り	行程6時間1分以上	3,000円
		行程6時間以下	1,500円
研修添乗	海外	2,500円	
	国内行程6時間1分以上	1,500円	
	国内行程6時間以下	500円	

<参考：現行の添乗手当および添乗付加手当>

ツアー種別		添乗手当 (1日当たり)	付加添乗付加手当 (報奨金)		合計 (1日当たり)
			アンケート 点数	金額 (1日当たり)	
海外添乗		4,500 円	4.60 以上	2,500 円	7,000 円
			4.40 以上	1,500 円	6,000 円
			4.40 未満		4,500 円
国内 添乗	宿泊有り	3,000 円	4.60 以上	1,500 円	4,500 円
			4.40 以上	1,000 円	4,000 円
			4.40 未満		3,000 円
	日帰り	行程 6 時間 1 分以上	3,000 円		3,000 円
		行程 6 時間以下	1,500 円		1,500 円
研修 添乗	海外	2,500 円		2,500 円	
	国内行程 6 時間 1 分以上	1,500 円		1,500 円	
	国内行程 6 時間以下	500 円		500 円	

③お客様アンケートの位置付けや活用方法の整理について

お客様アンケートは、次の企画に活かすためのマーケティングツールであることが本来的な位置付けである旨を労使にて確認しています。回収は重要な業務の一つと捉えていますが、その活用方法については今後も確認していきます。

## 2. 国内出張の日当水準の見直しについて 【報告事項】

### 1) 見直しの考え方

国内出張の日当水準については、今後グループ内で人財の交流や異動が増えていくことが予想されることから、三越伊勢丹グループ他社の水準と合わせていく方向性で議論しています。

現行	
国内出張日当	1日当たり 3,000 円 (宿泊有無に関わらず)
宿泊費	10,000 円を上限として実費



改定		
国内出張日当	宿泊有	1日当たり 2,000 円
	宿泊無	1日当たり 1,000 円
宿泊費	東京 23 区内以外	8,000 円を上限として実費
	東京 23 区内	9,500 円を上限として実費

また、現在の国内出張の実施状況については、クーポンの販売等でおこなわれている場合もありますが、頻度としては一部に限定されている旨、労使で確認しています。

その他出張手当と添乗手当の整合性については、春の交渉の際のメンバーズ VOICE にて協議の内容をご報告いたします。

<参考：MINT および三越伊勢丹の出張旅費種別表>

#### MINT2022 年労働協約抜粋

(別表 1) 出張旅費種別表

交通費	鉄道 飛行機 その他	普通座席指定 エコノミークラス 鉄道に準じる
宿泊費		10,000 円を上限として実費
日当	宿泊のある場合 宿泊のない場合	1日当たり 3,000 円

#### 三越伊勢丹 2022 年労働協約抜粋

(別表 1) 出張旅費種別表

交通費	鉄道 飛行機 その他	普通座席指定 エコノミークラス 鉄道に準じる
宿泊費	東京23区内以外	8,000円を上限として実費
	東京23区内	9,500円を上限として実費
日当	宿泊のある場合	1日当たり2,000円
	宿泊のない場合	1日当たり1,000円

### 3. ステージB昇格要件の見直しについて 【報告事項】

#### 1) これまでの経緯と現状の昇格要件について

ステージBへの昇格要件については、2019年度の会社統合時の状況（各ステージへの格付けなど）を踏まえ、なるべく制限を設けないといった考え方から、エントリーシートによる選考や、上長による昇格考課はあるものの、グループ共通HAPの受験回数や連続受験については、「制限なし」としていました。

#### 2) HAPの位置付けについて

HAPは、複数の演習を通し、ステージBとしての能力の発揮が充分かどうかを見極める選考方法です。

従って、受験結果次第では、自身の強みや弱みを理解し、課題改善のための自己啓発を、普段の業務の中でおこなっていくことが重要となります。

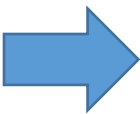
また、上記の自己啓発については、本来、一定の期間を掛けて、計画的に取り組むことによって、次の受験機会に効果を発揮するものとなります。

合わせて、これらの取り組みについては、普段からの上長とのコミュニケーションもより重要となります。

#### 3) 今年度の協議の内容について

HAPの位置付けを踏まえて、ステージBへのHAP受験要件については、一定の制限を設けることで、よりHAPのフィードバックを意識した自己啓発を推進することを目的に、連続受験の制限について検討をおこなっています。

連続受験に制限がない現状においては、HAPのフィードバックを受けてから、およそ6ヶ月後に次の受験エントリーが始まりますが、HAPで得た気づきを改善していくためには、十分な期間が必要という考え方から、連続受験に制限を設けます。ただし、受験当日に体調不良等、明らかに普段のパフォーマンスを発揮できなかった場合を考慮して、1回に限り、連続受験は可能といった方向性で協議をおこなっています。

現行			改定	
回数制限	無し		回数制限	無し
連続受験の制限	無し		連続受験の制限	1回まで可能

連続受験1回までの運用については、2023年度のHAPより実施していく予定です（2022年度に受験された方も、2023年度の受験は可能）。